

2015年10月15日

野村アセットマネジメント株式会社

【ご参考資料】



「野村日本企業価値向上オープン
(円投資型)/(米ドル投資型)」の基準価額の動きと今後の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村日本企業価値向上オープン(円投資型)/(米ドル投資型)」(以下、ファンド)の基準価額は、2015年10月9日現在、(円投資型):9,166円(設定来-8.3%)、(米ドル投資型):9,159円(設定来-8.4%)となりました。

以下に、基準価額の動きをご報告し、次ページ以降で組入上位銘柄のROE向上に向けた取り組みや今後の見通しなどについてご説明いたします。

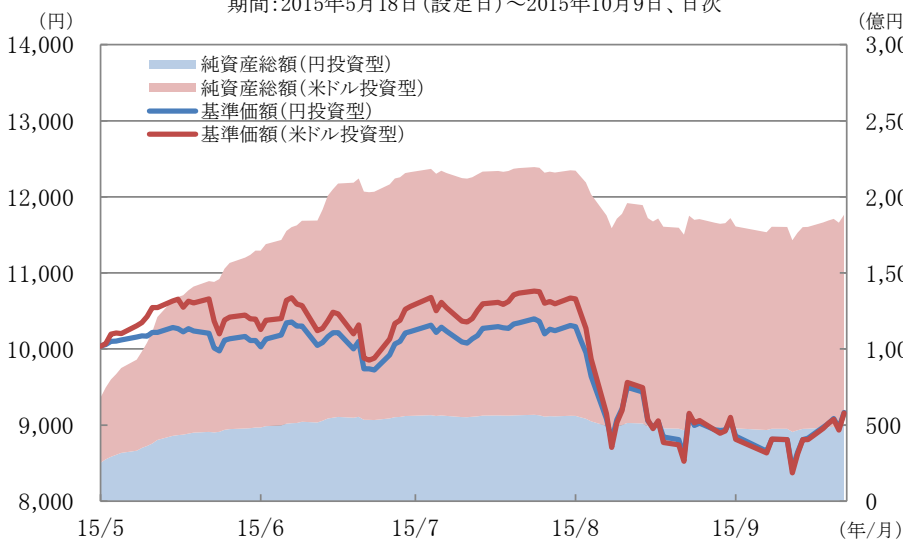
設定来の運用実績 (2015年10月9日現在)

ファンドの基準価額は、2015年7月までは堅調に推移していましたが、8月の中国元の切り下げをきっかけに中国経済の先行きに不透明感が高まったこと、FRB(米連邦準備制度理事会)の利上げ時期が迫り、世界経済の悪化懸念が生じたことを背景に、8月以降下落しました。

ファンドでは、キャッシュリッチで株主還元に向きあっている会社が多い電気機器、小売業、化学などにより多く投資しました。

《基準価額と純資産総額の推移》

期間:2015年5月18日(設定日)~2015年10月9日、日次



(注)上記期間において分配金実績はありません。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

2015年10月9日現在

ファンド	円投資型	米ドル投資型
基準価額	9,166円	9,159円
純資産総額	496.0億円	1,385.7億円

ファンド	円投資型	米ドル投資型
騰落率(1ヵ月)	+0.3%	+0.0%
騰落率(3ヵ月)	-5.9%	-7.0%
騰落率(設定来)	-8.3%	-8.4%

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

組入上位銘柄のROE向上に向けた取り組みと良好なパフォーマンス

組入上位銘柄における、ROE向上に向けた企業の積極的な株主還元姿勢

ファンドの組入上位3銘柄のROE(自己資本利益率)向上に向けた取り組み状況は、中期的なROE目標を設定し、自社株取得、増配など株主還元を積極化する姿勢があらわれています。

《組入上位3銘柄(2015年9月末現在)のROE向上に向けた取り組み》

《組入1位》 ヤマハ(その他製品)	《組入2位》 積水ハウス(建設業)	《組入3位》 マツモトキヨシホールディングス (小売業)
<ul style="list-style-type: none"> 第1四半期決算発表において2016年3月期業績を上方修正。 中期的なROE目標は10%(2015年3月期実績は8.1%)。 	<ul style="list-style-type: none"> 2015年3月に200億円の自己株式取得枠を決定。 2015年6月に200億円の自己株式取得を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人の増加による需要拡大で業績好調。 2016年3月期配当は前期比+10円の70円を予定。

(出所)各社IR資料、ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成
記載内容は、資料作成時点で確認できるものを使用しており、今後修正される場合があります。

上記はファンドの組入上位銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。また、過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

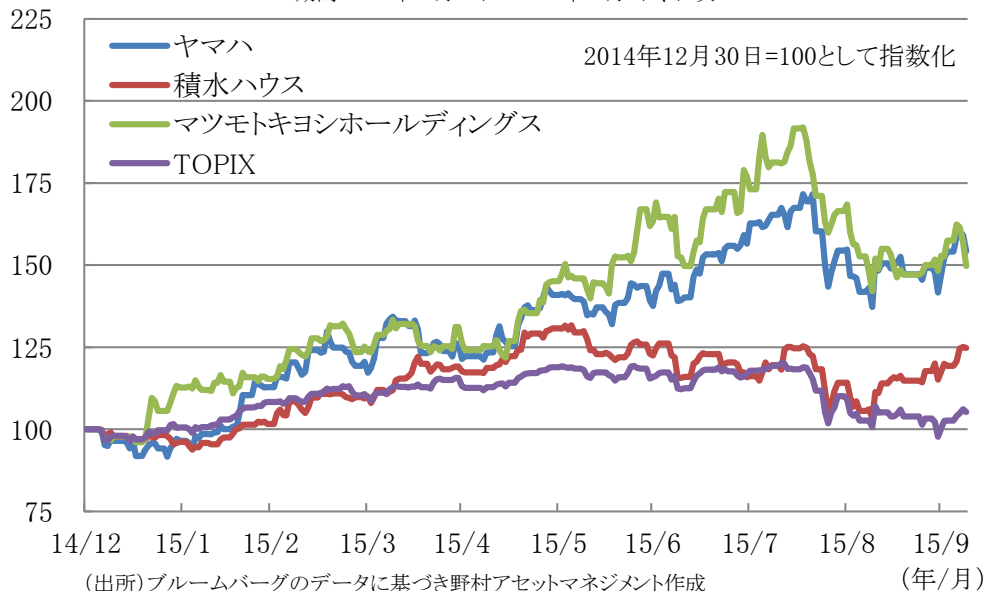
組入上位銘柄は堅調なパフォーマンス

組入上位3銘柄(2015年9月末現在)の株価の推移について、年初来(2014年12月末以降)で見ると、TOPIXと比較して組入上位3銘柄は相対的に堅調な推移となりました。

なお、ファンドでは当該3銘柄を設定当初より投資していました。

《組入上位3銘柄(2015年9月末現在)の株価の推移》

期間:2014年12月30日～2015年10月8日、日次



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

今後の見通し

自社株取得枠は2015年度もさらに拡大

自社株取得枠(累計)の状況を見ると、2015年度は前年度を大きく上回る自社株取得枠が設定されています(2015年10月2日時点)。会社数は約340社に及んでおり、取得枠(金額)の上位10銘柄には日本を代表する大企業も多く含まれています。

コーポレートガバナンス・コードなどを背景に、企業はROE向上に真剣に取り組み始めており、その施策は成長投資、自社株買い、増配など企業によって様々ですが、いずれも株価上昇の要因になります。

ファンドは、こうしたROE向上が見込まれる企業、株主還元に向きな企業に投資しています。株主を向いた経営は今後益々強まっていくと想定され、企業が努力したメリットを享受できるファンドであると考えています。

今後の中間決算発表(ROE向上を意識した表明)とファンドへの期待

企業のファンダメンタルズはここ数年の利益回復に見られるように着実に改善してきています。

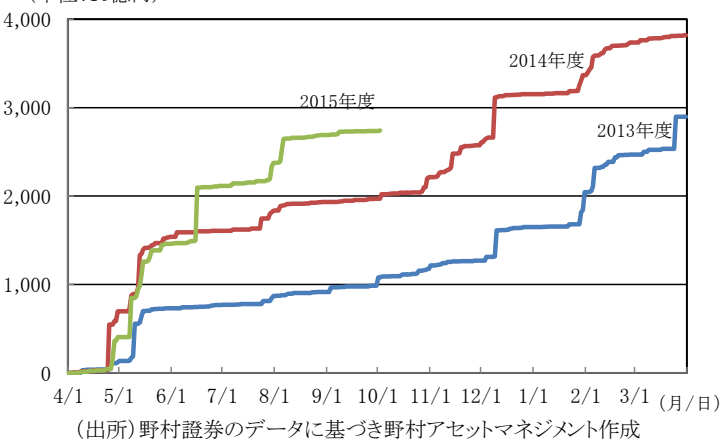
ファンドが保有する銘柄のROE水準は、各企業のROE向上と株主還元を積極化した姿勢や業績好調などから、市場全体よりも相対的に上昇傾向にあり、8.06%となっています(2015年9月末現在)。

10月末から本格化する2015年度中間決算の発表において自社株買いや増配などのROE向上を意識した発表が多くあるとの見方もあり、ファンドのパフォーマンスに寄与することが期待されます。

《自社株取得枠(累積)の推移》

期間:2013年度～2015年度

(単位:10億円)



《2015年度に自社株買いを表明した企業の一例》

2015年10月2日時点

* 自社株買いを表明した約340銘柄のうち、取得枠(金額)上位10銘柄

銘柄名	公表日	取得枠(金額) [単位:千円]
トヨタ自動車(種類株)	2015/6/16	600,000,000
トヨタ自動車	2015/5/8	300,000,000
ソフトバンクグループ	2015/8/6	120,000,000
東京エレクトロン	2015/4/27	120,000,000
三菱UFJフィナンシャル・グループ	2015/5/15	100,000,000
三菱商事	2015/5/8	100,000,000
富士フイルムホールディングス	2015/7/30	100,000,000
日本電信電話	2015/8/5	100,000,000
ガンホー・オンライン・エンターテイメント	2015/4/28	82,999,992
第一三共	2015/5/14	50,000,000

(出所) 野村證券のデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜当資料で使用した指数について＞

●東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「(株)東京証券取引所」という。)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は(株)東京証券取引所が有しています。(株)東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

《ご参考》ポートフォリオ(シミュレーション)のパフォーマンス特性(試算)

以下のシミュレーション結果は、野村アセットマネジメントが信頼できると判断したデータに基づいて行なっておりますが、これは、過去のデータに基づいて算出した結果であり、将来の運用成果等を予測あるいは示唆するものではありません。また、ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。当該シミュレーション結果は、実際のファンドの運用結果ではありません。

下落局面での相対的な強さと上昇局面での底堅いパフォーマンス

下記左グラフでは、定量面(ネットキャッシュがプラスかつROEが市場平均の1.2倍未満)のみを考慮して構築した「ポートフォリオ」とTOPIX(配当込み)の騰落率(1年間)を比較しました(期間は1999年12月末から2015年4月末まで)。

個別銘柄のファンダメンタルズが反映される業績相場での強さ

市場全体が大きく水準訂正されるような局面(TOPIX上昇率が20%以上)では、TOPIXの騰落率(1年間)の平均値が+39.7%に対し「ポートフォリオ」は+35.6%となり、「ポートフォリオ」に組み入れていない銘柄が底上げされるなど「ポートフォリオ」のパフォーマンスは少し劣後しましたが、企業の質や収益など個別銘柄のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)を反映するいわゆる「業績相場」などの局面(TOPIX上昇率が20%未満)では、TOPIXの+8.7%に対し「ポートフォリオ」は+12.7%となり、良好なパフォーマンスとなりました。

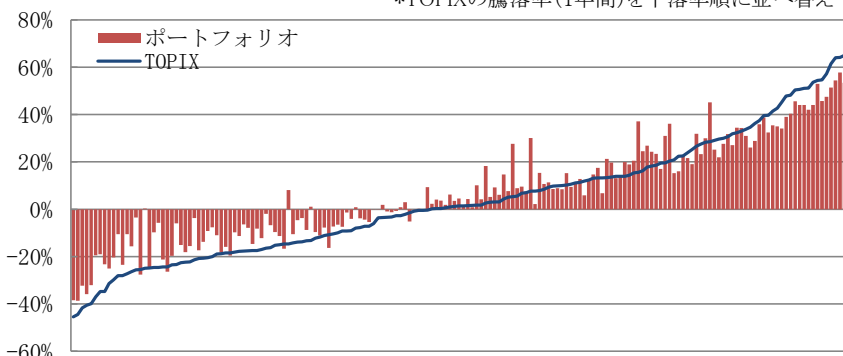
下落局面での下値抵抗力の強さ

また、下記右グラフでは、最も下落した期間(1年間)でTOPIXの-45.4%に対し「ポートフォリオ」は-38.4%に留まりました。さらに、TOPIX下落時の平均騰落率(1年間)ではTOPIXの-17.7%に対し「ポートフォリオ」は-10.9%となり、「ポートフォリオ」の優位性が確認できます。

企業価値は「①現在存在する価値(現預金や資産、除く負債)」+「②将来の価値(主に利益×投資家の期待)」と見ることができますが、リスクオフ(リスク回避)の場面では先行きに対する不安から「②将来価値」が小さくなると考えられます。「ポートフォリオ」では、「①現在存在する価値」に着目しており、骨太な下値抵抗力が備わっていると考えることができます。

《ポートフォリオとTOPIXの騰落率(1年間)の比較》

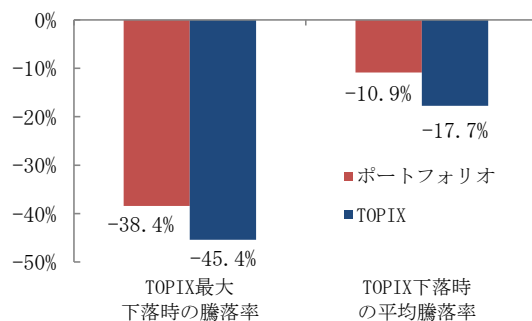
期間:1999年12月末~2015年4月末、月次
*TOPIXの騰落率(1年間)を下落率順に並べ替え



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

《TOPIX下落時のポートフォリオ騰落率(1年間)》

期間:1999年12月末~2015年4月末、月次



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

今後とも「野村日本企業価値向上オープン(円投資型)/(米ドル投資型)」をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以上

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 主要投資対象

【円投資型】

わが国の株式を実質的な主要投資対象※とします。

【米ドル投資型】

わが国の株式を実質的な主要投資対象※とし、選択権付き為替予約取引等の外国為替に関するデリバティブ取引を主要取引対象とします。

・株価指数先物取引および外国為替予約取引等を活用する場合、短期有価証券ならびに短期金融商品等に投資する場合があります。

※「実質的な主要投資対象」とは、「野村日本企業価値向上オープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

- ファンドは、円建て資産について為替取引を行なわない「円投資型」と、円建て資産について、選択権付き為替予約取引等の外国為替に関するデリバティブ取引を活用し、米ドルへの投資効果を追求する「米ドル投資型」があります。
- わが国の株式の中から、企業価値向上が期待される銘柄を選別して投資することにより、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
- 株式への投資にあたっては、独自の手法によって選定された企業価値向上の余地があると思われる銘柄群から、株主価値に対する経営姿勢についての評価や企業の調査・分析等を中心とした「ボトムアップアプローチ」に基づいて、組入銘柄の選定、ポートフォリオの構築等を行なうことを基本とします。
- 円投資型
 - ◆ 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- 米ドル投資型
 - ◆ 円建て資産について、選択権付き為替予約取引等の外国為替に関するデリバティブ取引を活用し、米ドルへの投資効果を追求します。なお、外国為替予約取引等を活用する場合があります。
 - ・ 信託財産の純資産総額に対する米ドルのエクスポージャーの比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
 - ・ 株式の実質的なエクスポージャーを高位に保つため、株価指数先物取引を活用する場合があります。
- ファンドは「野村日本企業価値向上オープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「円投資型」「米ドル投資型」間でスイッチングができます。
- 原則、毎年3月23日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。また、米ドル投資型は、外国為替に関するデリバティブ取引を行ないますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成38年3月23日まで(平成27年5月18日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、3月23日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「円投資型」「米ドル投資型」間でスイッチングが可能です。
*販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2015年10月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税込3.00%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 【円投資型】 年1.35%(税抜年1.25%) 【米ドル投資型】 年1.3608%(税抜年1.26%)
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に
応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村證券

商号:野村證券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>



当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様には帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。